

## 自治体 DX の推進について

### 1 予算計上事業

#### (1) 業務棚卸アドバイザー委託 (2,764 千円)

庁内の DX 推進の前段として、まずは全ての職員が、業務改善の可能性を徹底的にアナログで考えることが重要と考え、業務棚卸に関する協力・アドバイスをいただくもの。

定型的な業務の効率化について、まずは業務プロセスの見直し等を実施することで、その後のデジタル化をより効果的に行う。

(実施内容)

- ・業務棚卸に関する職員研修 1 回 (アンケート集計含む)
- ・現地での各担当ヒアリング～2 班体制で 4 日間かけて行い、業務改善の可能性について整理する。
- ・令和 5 年度前半に業務棚卸を実施し、その後の DX 推進に向けて検討を進める予定。

#### (2) RPA による業務効率化業務委託 (2,858 千円)

自治体 DX 推進計画の重点取組事項にもある「自治体の AI・RPA の利用促進」に沿って、庁内における RPA の利用促進を図るため、支援を受けるもの。

ア シナリオ作成支援業務 (業務フロー整理支援 2 日間、シナリオ作成支援 10 日間)

イ 操作研修 (年 1 回/訪問型操作研修 6 時間)

ウ RPA 保守 (実行版ライセンス、年間 45 時間のオンラインサポート)

### 2 その他

#### (1) 地域情報化アドバイザー派遣事業活用

ア 制度

ICT を地域課題の解決に活用する取組に対して、ICT の知見、ノウハウを有する専門家を派遣し、各分野について助言・支援を行うことにより、地域における ICT 利活用等を推進し、活力と魅力ある地域づくりに寄与するとともに、地域において ICT を活用した取組の中核を担える人材の育成を図ることを目的とした国の事業。自治体の費用負担はなく、1 回の派遣申請につき、最大 3 日まで派遣可能な制度。

## イ 実績

令和3年度 令和4年1月27日（木）10：00～12：00

- ・オンラインにより実施。アドバイザーから他の自治体の事例紹介や DX に関する情報提供を受ける。

令和4年度 令和4年6月3日（金）10：00～11：50／13：30～15：20

- ・組織全体で DX を推進するに当たって、「DX とはどのようなものか」「なぜ今 DX に取り組む必要があるか」等、基礎的な共通理解を形成することを目的として『DX に関する勉強会』を実施。

令和5年度 活用予定